

人のご縁を大切に

福井 - 佐賀 の結婚協定

福井36期 中林和庸

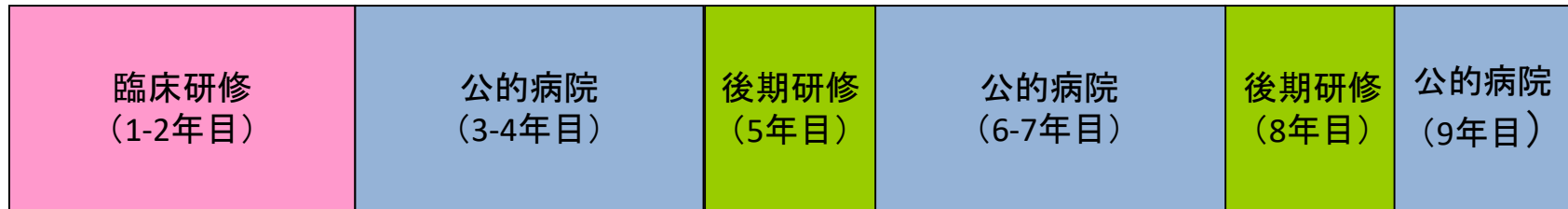
JR福井駅 恐竜広場



佐賀 バルーンフェスタ



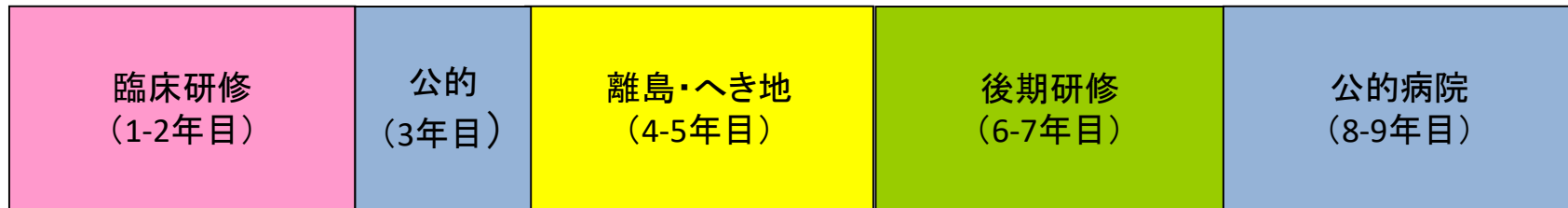
福井県自治医科大学卒業医師の配置パターン



- ① 公的病院(地域)には診療所、地域中核病院(市町立医療機関)が含まれる。福井県に離島はなし。
- ② 卒後3年目は比較的規模の大きい病院で勤務
- ③ 卒後5年目、8年目に後期研修を取得。福井県立病院、福井大学、自治医科大学での研修実績あり(ここ最近)

佐賀県自治医科大学卒業医師の配置パターン

～ 地域医療の現状を踏まえつつ、医師本人のキャリア形成にも配慮 ～



・1年目 佐大病院
・2年目 好生館

・唐津日赤病院勤務
・離島前の研修

・離島診療所の所長
・離島・へき地は現状4か所のため2年勤務
・週1日は島外での研修(専門)可能

・希望する科の専門研修
・佐大病院、好生館、唐津日赤 等

・市町立医療機関、
・可能な限り、本人が希望する科で勤務を配慮

- ① 離島・へき地診療所が4か所の間は、卒後4～5年目の2年間を離島・へき地勤務とする。
 - ② 卒後3年目は唐津日赤において離島・へき地に備えた研修勤務。公的医療機関勤務として扱う。
 - ③ 新専門医プログラムについては、卒後6～9年目で参加できるように人事配置上配慮する。
 - ④ 不足診療科専攻については、離島の体制が確保されていることを前提に、離島へき地勤務から外す。
- ※ ただし、各医療機関の要望、人員の都合等で、以上の取扱いができない場合もある。

自治医大同期、佐賀県出身の妻と卒業後すぐに入籍

- 要望 ①二人一緒に県での勤務希望
②初期研修を福井県希望（初期研修・救急教育の評判◎）

義務9年間を前後半に分け、二人一緒に県を移動



実際の勤務については、希望をお伝えしてその都度交渉
＜交渉の実例＞

- ・同じ勤務先でなくてもいいが、通勤可能範囲内にしてほしい。
 - ・専門医取得のために〇〇病院で勤務または研修を行いたい。
 - ・妻が妊娠・出産を希望している。
- など年度や状況により希望は様々



嶺北

福井 三大定番
恐竜博物館・東尋坊・永平寺



福井市

初期研修2年
後期研修1年

嶺北
嶺南

北陸・雪国

関西寄り

鯖江
武生
越前海岸

小浜
高浜

小浜市・大飯郡

公立病院1年
診療所1年

福井
タウン

東尋坊
三国
あわら

永平寺
勝山
大野

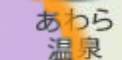
敦賀
三方五湖



東尋坊



丸岡城



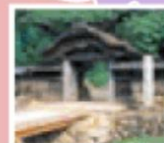
あわら
温泉



大本山
永平寺



恐竜博物館



一乗谷
朝倉氏遺跡



スキージャム
勝山



九頭竜湖



越前陶芸村



越前和紙の里



氣比神宮

瓜割の滝



蘇洞門



明鏡洞

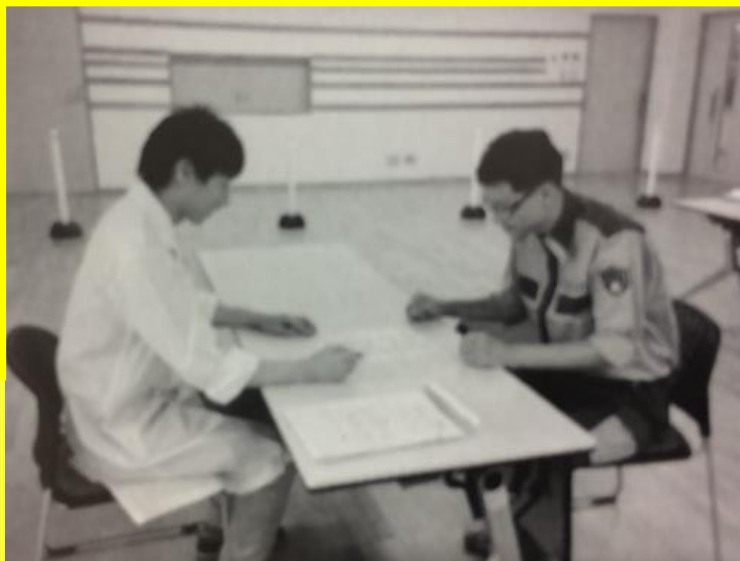
福井 5年・佐賀 4年の結婚協定

福井県では 2年しか地域に貢献できない！！

やれることはなんでもやろう！！



高浜原子力発電所(産業医)



運動会・花火大会 救護班



学校医、検診業務



おい町健康委員

↑ 職場巡視後 @保健室

内閣府・福井県・京都府・滋賀県
関西広域連合合同
原子力防災訓練 ➡

もちろん臨床も

3年目（当時）

急性期 地域中核病院

病床 456床

（一般246,療養100,結核8,感染症2,精神100）

常勤医師数 約50名

内科勤務

内科医 8名（4名が義務内派遣）

入院・外来

上部内視鏡

下部内視鏡

内視鏡治療（止血・EMR・ステント・減圧治療・ERCP）など

抗がん剤治療

緩和治療 など

福井・京都圏から
医師が派遣される病院
（県境に近い）

急に常勤消化器内科が不在になり
自分が後任を任されることに



先輩方や他科のDrに助けてもらいながら、ちょっとだけ無理をして、
できることを目の前の患者さんのために頑張ってみました。

印象に残る出会い

33歳 女性

夫35歳、娘7歳、息子3歳の4人暮らし
大量の腹水貯留でほとんど動けず。腹部膨満、食欲不振で受診。
胃癌・腹膜播種 Stage 4

いつ急変してもおかしくない

大きな病院へ紹介しても通院は1時間以上かかるなあ

手術不能症例！

しんどい

抗がん剤導入をしたことない

家族と一緒にがいい

入院したくない

子供とできるだけ一緒にいたい

3年目(当時)には荷が重い

余命6-13ヶ月
(生存期間中央値)

院内に消化器系の内科は自分だけ

覚悟は決まっています

遠い病院にはいきたくない

子供に元気な姿を長く見せたい

正直に言おう

治療はできるだけ頑張りたい

少なくとも最初は専門病院のほうがいいのでは？ 自分もすぐに異動になるかも

県人会・初期研修のツテを使って相談すれば、自分にもできるかもしれない

私の思い

患者：夫と相談して決めました

ここで先生に治療して欲しい

私：この家族の人生に寄り添いたい

患者の思い

印象に残る出会い

33歳 女性

夫35歳、娘7歳、息子3歳の4人暮らし
大量の腹水貯留でほとんど動けず。腹部膨満、食欲不振で受診。
胃癌・腹膜播種 Stage 4

胃癌治療ガイドライン (2015年時)

入院 or 受診回数が多く、大量補液が必要なレジメンのみ (S1,CDDP/XP-HER)

→ 患者の希望に添えない

薬剤師さんが承認されたばかりの抗がん剤はどうかと提案

外来治療可能な治療レジメン(SOX+HER)

倫理委員会で検討し、使用許可後に投与開始 1-2クールで腹水消失し、自宅生活可能に

→ のちに2019年の胃癌治療ガイドラインに記載された

結局、1年で人事異動となり、治療は外科Drに引き継ぐことに
しかし異動先の診療所は「患者さん」の自宅の目の前だった。

以後はご近所さんとして患者と接し、産業医として夫を、診療所で子供の主治医になる
初めて母親としての姿をみて、自分の選択は間違っていなかったと実感

常に笑顔を絶やさない人で、いつのまにか自分の方が元気をもらっていた

初診から3年半後に亡くなられた
後日、旦那さんから感謝の言葉に胸が熱くなる

印象に残る出会い

33歳 女性

夫35歳、娘7歳、息子3歳の4人暮らし
大量の腹水貯留でほとんど動けず。腹部膨満、食欲不振で受診。
胃癌・腹膜播種 Stage 4

診察室ではがん患者  自宅では母親であり、妻

目の前の患者さんにとって 主治医は私 → 何年目かは関係ない。

困ったら医師、薬剤師、看護師、技師、事務など医療スタッフ皆が助けてくれる。
出会った繋がりは貴重な財産

色々考えた結果、うまくいかないこともあるけれども、
お互いに後悔のない選択をすれば、自己満足でもいいと思えた

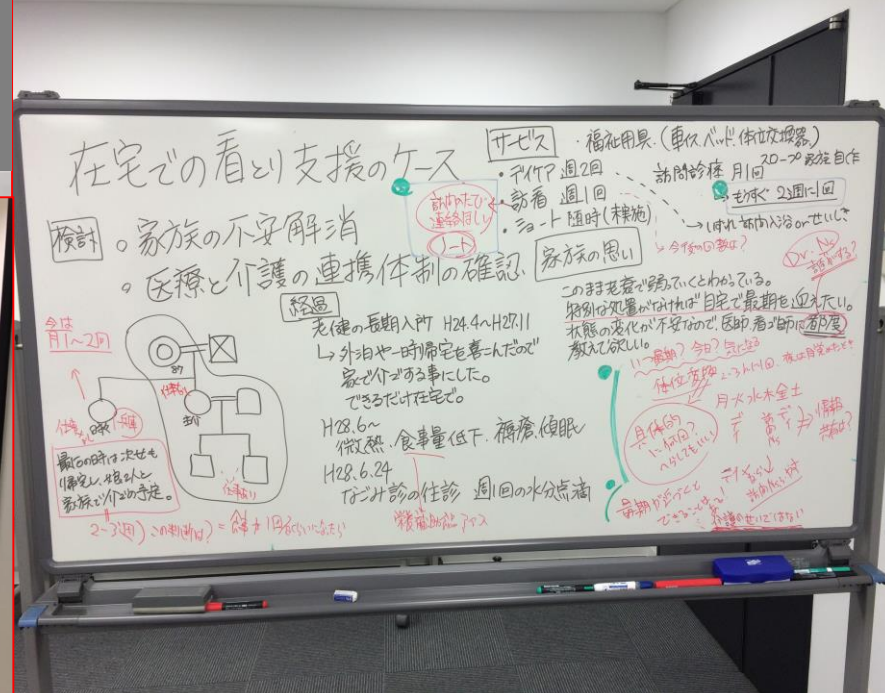
一生懸命向き合ったら、いいことあるかも

急性期から慢性期へ

住民の誕生日月・胃カメラ検診
(歴代自治卒業生に引き継がれる)

休日は頭部CTのみ
自分で撮影！！

在宅看取り支援
多職種カンファランス



5年目 地域から専門(外科)へ



福井県立病院

後期研修

福井＝美しい街！！

嶺南も

青葉山(若狭富士)



妙祐寺しだれ桜



お水送り



田鳥の棚田



若狭塗

福井＝美味しい街！！



福井 5年・佐賀 4年の結婚協定

北陸から九州へ 移動距離870km

悩んだこと・不安だったこと

- ・最初から地方病院への派遣が決定し、相談できるつながりがない/紹介する先がない(知らない)
- ・佐賀県人会のことが全然分からない。
- ・言葉が通じないかも (妻は福井弁が分からないと言っていた)
- ・これまで勉強したことや経験が通用するのか不安
- ・これから先の進路はどう決定したらいいだろうか。

佐賀県

3年間 (6-8年目)

佐賀西部医療圏で外科医として勤務



医療過疎地域
開業医の高齢化

伊万里有田共立病院 外科派遣

私たちが贈る

あたたかい手と確かな信頼

福井で学んできた事を惜しみなく発揮



地域の外科医として研鑽

●外科手術 約200-250例/年 ベット数 206床

・**診断** (救急・内視鏡) ⇒ **治療** (手術・麻酔、抗がん剤) ⇒ **看取り** (緩和治療)

・緊急手術は**麻酔も兼任** (指導のもと自家麻酔)

悩んだこと・不安だったこと

- ・最初から地方病院への派遣が決定し、相談できるつながりがない/紹介する先がない(知らない)
- ・佐賀県人会のことが全然分からない。
- ・言葉が通じないかも
- ・これまで勉強したことや経験が通用するのか不安
- ・これから先の進路はどう決定したらいいだろうか。

田舎の雰囲気は県が違ってもだいたい一緒
なんとかなる！！皆優しい！！

佐賀18期 園田英人先生と



勤務初日の前日から ope
引っ越し日まで ope
たくさん御指導頂いた

佐賀県人会も暖かく迎えてくれた



自治のつながりは財産

県が違って自治卒業生は同志



医療スタッフ皆めちゃくちゃ頼りになる
(距離が近い・なんでも教えてくれる)



事務・看護師さんが通訳係





夏の風物詩・風鈴まつり



フルーツの里伊万里



伊万里牛



伊万里焼・大河内山



有田焼



呼子のイカ



佐賀県医療センター 好生館



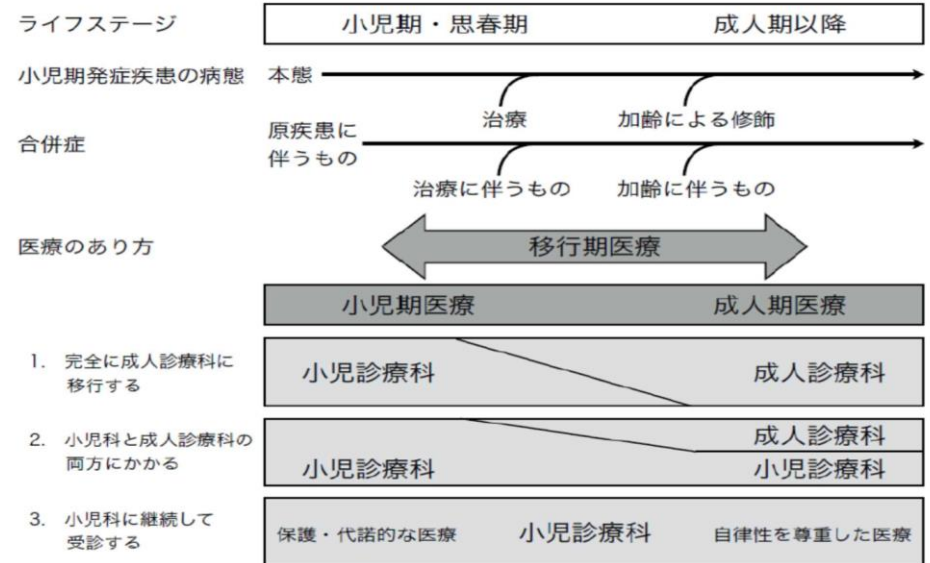
9年目 小児外科

Specialty / SubSpecialty

ライフステージ(義務内)

初期研修
内科医
外科医
小児外科医

移行期医療の概念図



出典：日本小児科学会 移行期の患者に関するワーキンググループ「小児期発症疾患を有する患者の移行期医療に関する提言」日児誌 118(1): 98-106, 2014

なぜ 小児外科なのか？

分野は違ってもやることは一緒

目の前の患者に一生懸命接するだけ

福井県の小児外科医数 1人

(10万人あたり0.3人 → 全国ワースト)

小児外科 ≡ 人生に寄り添える医療者
小児科・内科・外科・総合医として介入
GENERAL SURGEON

地域の医療格差
医療の谷間

地域にいても夢は大きく

0歳から100歳まで診れる外科医になりたい

結婚協定は新しい自分発見のチャンス

Culture Shockや環境の変化から
ステップアップのための動機が生まれる

魅力あふれた地域で、魅力あふれた多くの出会いがある

妻との関係は

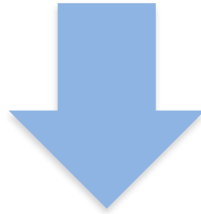
家族であり、最も距離の近い同僚であり、
地域を一緒に支える戦友
お互いに診療の相談(愚痴?)をすることも多い
非常にありがたい存在です



わたしの信条

因果律

すべての物事はつながっていて、
偶然であり必然である



じっとしていれば何も起こらないが、
自分から動けば(意識をむければ)、
いつか役に立つ(世界が開ける/結果がついてくる)

様々な病院・診療所・環境・土地・分野でも活躍できるのが自治医大卒業生の強み
環境が変わっても、自治医大のつながりは変わりませんでした

9年間で学んだこと

出会えた人・環境全てに育てて頂いている

人間は人生の中で逢うべき人には
必ず会える。しかも
一瞬早すぎず、一瞬おそすぎない時に

迷ったら
遠い道、困難な道
自分が**ワクワクする道**を選ぶ

皆様とどこかで一緒に働けることを楽しみにしています。